

山口県阿武郡立萩図書館一覽



Y016

山口縣阿武郡立萩圖書館一覽

34323

萩市立圖書館

目次

口 繪

- 1、上圖、萩圖書館前面 下圖、婦人閱覽室及書庫
- 2、萩圖書館二百四十分一縮圖

一、沿革

二、諸則

- 1、萩圖書館規則
- 2、圖書閱覽人心得
- 3、郡立萩圖書館基金設置及管理規則
- 4、阿武郡立萩圖書館巡回書庫規程
- 5、優待券及特待券規定

三、役員

四、經費

五、基金



六、藏書
七、成績

一、自明治三十三年度至大正元年度圖書閱覽者累年比較

二、大正元年度圖書閱覽人員種別

三、大正元年度圖書閱覽入表區別

四、大正元年度閱覽圖書冊數

五、夏期閱覽所成績

六、寄贈

一、金品

二、圖書

三、雜誌

四、新聞

五、其他

六、合計

七、附註

八、附註

九、附註

十、附註

十一、附註

十二、附註

十三、附註

十四、附註

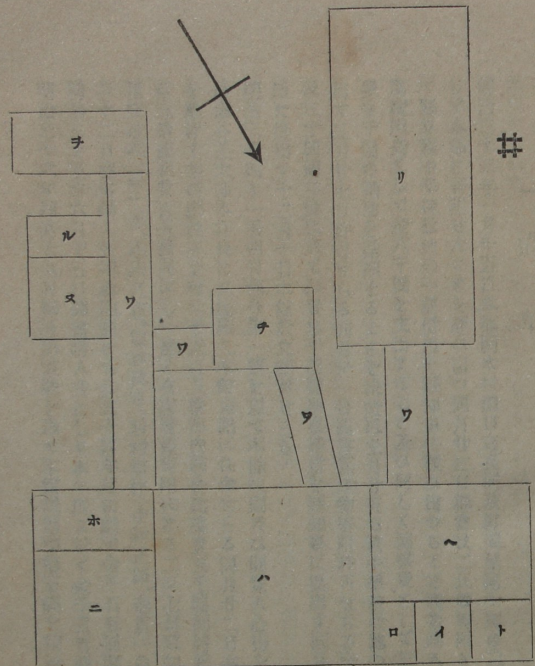
十五、附註

十六、附註

十七、附註

十八、附註

十九、附註



1/240 圖縮館書圖萩

- 總坪數百貳拾貳坪六合四勺
 內
- イ 玄関二坪二合五勺
 - ロ 携帶品置場一坪五合
 - ハ 普通閱覽室廿七坪
 - ニ 特別閱覽室九坪
 - ホ 喫茶喫烟室四坪五合
 - 〜 事務室十二坪
 - ト 應接室二坪二合五勺
 - チ 婦人閱覽室五坪
 - リ 二階造書庫卅一坪
 - ス 小使室三坪
 - ル 湯洗所二坪
 - チ 便所五坪二合五勺
 - ワ 廊下十六坪八合九勺



一、沿 革
 明治三十六年八月八日
 明治三十五年六月十五日
 明治三十四年二月四日
 明治三十三年一月十五日
 明治三十二年八月廿五日
 明治三十一年八月廿五日
 明治三十年八月廿五日
 明治二十九年八月廿五日
 明治二十八年八月廿五日
 明治二十七年八月廿五日
 明治二十六年八月廿五日
 明治二十五年八月廿五日
 明治二十四年八月廿五日
 明治二十三年八月廿五日
 明治二十二年八月廿五日
 明治二十一年八月廿五日
 明治二十年八月廿五日
 明治十九年八月廿五日
 明治十八年八月廿五日
 明治十七年八月廿五日
 明治十六年八月廿五日
 明治十五年八月廿五日
 明治十四年八月廿五日
 明治十三年八月廿五日
 明治十二年八月廿五日
 明治十一年八月廿五日
 明治十年八月廿五日
 明治九年八月廿五日
 明治八年八月廿五日
 明治七年八月廿五日
 明治六年八月廿五日
 明治五年八月廿五日
 明治四年八月廿五日
 明治三年八月廿五日
 明治二年八月廿五日
 明治元年八月廿五日

山口縣阿武郡立萩圖書館一覽

一、沿 革

明治三十三年一月十五日日本郡明木村瀧口吉良同萩町菊屋剛十郎の二氏より圖書館建物一切を新築して本郡に寄附せんことを願ひ出つ同月廿二日郡會は二氏の寄附を受理すること圖書館敷地とて縣立萩中學校敷地の一部借用を縣知事に願ひ出つること圖書館購入費として三十三及三十四兩年度に於て縣費參千圓補助稟請書を縣知事に提出す同月九日日本館設立稟請書を文部大臣に提出す十二月十日本館設立認可せらる
 明治三十四年二月四日郡令第一號を以て本館規則及び閱覽人心符を定む同月十五日縣立萩中學校長兩谷蒸太郎本館長に高麗殿九本館書記に任命せらる同月廿二日本館職制を定む同月卅日開館式を舉行す當時創設費全額六千貳百五拾圓内館舍建築費五千圓同諸費貳百五拾圓書函其他備品費八百五拾圓雜費百五拾圓にして悉く有志者の寄附になる二月七日縣知事より瀧口吉良、菊屋剛十郎、國重政亮、岡十郎、小川久吉、熊谷萬吉、西村禮作、中村正路、蒲貫一の九氏に本館商議員を囑託す三月十二日圖書購入費補助問届けられ三十四年度に於て金千五百圓補助の旨縣知事より達せらる
 明治三十五年六月十五日圖書購入費として本年度に於て金千五百圓補助の旨縣知事より達せらる
 明治三十六年四月十六日郡令第五號を以て本館規則中第五條を削除す五月廿五日書記高麗殿九免

せらる七月一日村木治郎書記に任命せらる十月九日圖書館外貸付規定を定む
明治三十七年十月十二日館長雨谷善太郎死亡す十二月廿七日縣立萩中學校長塚本又三郎本館長に
任命せらる十一月廿二日本郡出身先輩に肖像寄附の依頼書を發送す
明治三十八年八月三十一日館長塚本又三郎免せらる十月十四日縣立萩中學校長羽石重雄本館長に
任命せらる十一月四日圖書館外貸付規程第二條を改正す
明治四十二年四月廿一日館長羽石重雄免せらる五月廿六日縣立萩中學校長村上俊江館長に任命せ
らる

明治四十三年三月四日郡會は菊屋安子及瀧口房子両夫人の婦人閱覽室建築寄附出願を採用し創立
第十週年紀念として基金參百圓巡回書庫準備費壹百圓火災保險料參拾圓紀念式費五拾圓を議決す
四月一日郡令第四號を以て本館基金設置及管理規則を定む五月二日告示第十一號を以て本館巡回
書庫規程を定む同日本館圖書貸出規程を廢止す五月廿三日無給助手として桐山四郎及金子敏輔の
二名を採用し六月一日より五百圓書庫整理館内模様換及婦人閱覽室建築の爲めに臨時休館す七月
十日婦人閱覽室落成す七月廿一日優待券及特待券規程を定む十月十九日始めて巡回書庫を發送す
明治四十四年三月五日本館創立滿十週年紀念式を舉行す四月一日より助手に月手當を給す七月七
日藤田平太郎本館を視察し基金中に金參百圓を寄附す七月廿一日より八月卅日迄西田町に夏期間
覽所を開設す經費は町内有志者小林作平、上田伊八、藤川東輔、小原彌一郎、津永孫之進、有吉國藏、
大岡與一郎の寄附金を以て支出す八月卅一日助手桐山四郎病氣の爲めに辭職す
明治四十五年三月十三日書記村木次郎依願免職三月廿七日溝部壯六書記に任せらる三月卅一日助
手金子敏輔新に事務雇に命せらる同日山本正時事務雇に命せらる七月廿一日より八月廿九日迄四
十日間東田町へ夏期間覽所を設く經費は館費より支出す九月廿二日事務雇山本正時辭職す

二、諸、則

1、萩圖書館規則

(明治三十四年一月四日制定)

第一條 本館は内外古今の圖書記録及新聞雜誌等を蒐集保存して衆庶の閱覽參考の用に供する所

とす

第二條 開館時限は左の如し 但時宜により伸縮することあるべし

一 三月一日より十月三十一日まで 毎日午前八時より午後五時に至る

第三條 閉館日は左の如し 但臨時の閉館日ハ其都度之を揭示す

一 歳 始 一月一日より五日まで

一 紀元節 二月十一日

一 曝書期 十月中凡十日間

一 天長節 八月三十一日

一 毎月曜日

一 歳 末 十二月廿八日より全三十一日まで

第四條 本館の圖書は別に定むる規程に依るの外館外へ貸與せざるものとす

第五條 (明治三十六年四月十六日郡令第五號を以て削除)

第六條 本館に圖書を寄贈せんと欲する者の圖書目録冊數價格及住所氏名を記し之を圖書に添へ

送付す(し)

第七條 多數の圖書を寄贈せんとする者に對しては本館より特に運搬費を支辨することあるべし

第八條 公衆の閲覧に供し若くは保管を請ふの目的を以て本館に圖書を委託せんと欲する者は其事由目録員數等を詳記し先づ本館へ照會し承諾を得たる後其圖書を送致すへし

2、圖書閲覧人心得 (明治三十四年二月四日制定)

第一條 圖書を閲覧せんと欲するものは閲覧證を求むへし

第二條 閲覧證を受けたるときは目録に依り其需むる處の圖書名、部門、冊數、番號、及住所氏名を記し之を差出して圖書を借受くべし

第三條 圖書の閲覧室外に於て閲覧するを許さず

第四條 閲覧室にて音讀談話喫烟其他粗暴なる行爲を禁す

第五條 但し其行爲により再び圖書の閲覧を許さざることあるべし

第六條 館外に出づる者の借受の圖書を返却すへし

第七條 圖書閲覧中紛失或は汚損する等の事ある時は本館指定の現品若くは償金を出さしむることあるへし

3、郡立萩圖書館基金設置及管理規則 (明治四十三年四月一日制定)

第一條 郡立萩圖書館に基金を設置す

第二條 基金は特別會計とし館長之を管理す

第三條 郡立萩圖書館に對し現金品若し證券の寄附あるときは之を基金に編入す 但し指定の寄附は此限にあらす

第四條 基金は證券を購入するに至る迄は郵便貯金又ハ確實と認むる銀行に預け入れ利殖するものとす

第五條 基金の管理に要する費用は本經濟より之を支辨す

第六條 本規則は明治四十三年四月一日より之を施行す

4、阿武郡立萩圖書館巡回書庫規程 (明治四十五年三月廿五日阿武郡告) (示第八號ヲ以テ本文ノ通り改正)

第一條 阿武郡立萩圖書館巡回書庫は郡内公衆の閲覧に供する爲めに發送するものとす

第二條 巡回書庫中の書籍ハ館長の選擇する處なるも閲覧者の希望を容るゝことあるべし

第三條 巡回書庫は本館より本郡小學校教員部會の各部の最近學校に發送し部内學校の巡回の順序は各部の内規に一任す各部に於てハ地方人士をして圖書を利用せしむる様適宜の方法を講ずべし

第四條 巡回書庫ハ必ず小學校内に保管し當該校長之か管理の責に任するものとす

第五條 巡回書庫の回送に要する費用は各部の負擔とす

第六條 各部内各小學校に於ける巡回書庫滞在期限ハ發送の都度館長之を定む

第七條 借覽中圖書を紛失若くハ汚損したる者ハ本館指定の現品若くハ代金を辨償せしむることあるべし

第八條 本館より書庫の發送を受けたる當該學校ハ直ちに領収の旨を本館に通知すべし書庫の回

返せる時は本館は其旨を最終學校に通知すべし
 第九條 部内の巡回を終へたる時は書庫を遅滞なく本館に回送すべし
 第十條 部内各學校に於ける閲覧成績に關する一ヶ年の統計は當該學校より毎年四月末日迄に館長に報告すべし館長は更に之を取纏め五月末日迄に郡長に報告すべし

5、阿武郡立 萩圖書館優待券及特待券規程

(明治四十三年七月廿一日制定)

第一條 萩圖書館は左記の者に優待券を贈與す

一、本館に功勞ある者

二、萩中學校職員

第二條 館長に於て必要と認めたる者

第三條 優待券を所持する者ハ本館圖書を携出借覽することを得

職員は七部以内其他は五部以内とし期限は萩中學校教員は一ヶ年以内其他は三ヶ月以内と尙引續き借覽せんと欲する者には一旦返納せしめ一ヶ月を経て他に借覽者あき時ハ再び貸出するものとす

第四條 圖書中本館の都合に依り貸出を爲さざるものあるべく又新に備へ付けたる圖書は一ヶ月を経たる後に定期刊行書は裝釘の後にあらざれば貸出を爲さず

第五條 本館に於て必要ある場合にハ貸出圖書を隨時返納せしむることあるべし

第六條 一ヶ年間百日以上入館閲覧(新聞雜誌の閲覧を除く)せる者には本館長の見込により特待券を贈與することあるべし其期間は次年度一ヶ年とす

但萩中學校生徒は第四學年以上に限る

第七條 特待券を所持する者は檢索票を携へて書庫に入り圖書を檢索することを得

第八條 特待券を所持する者には館長の見込により圖書の携出を許す事あるべし

第九條 特待券を所持する者にして不都合の所爲ありたる時は特待券を無効とし之を沒收する事あるべし

三、役員

館長	山口縣立萩中學校長	村上俊江
書記		溝部壯六
事務		金子敏輔
商議員	瀧口吉良 岡十郎 西村禮作	國重政亮 熊谷萬吉 貫一
	菊屋剛十郎 小川久吉 中村正路	

四、經費

年次	經常	臨時	縣費補助	圖書購入金額
三十四年度	二,三三二.八五	四,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇	四,三六三.三三
卅五年度(自卅四年度至卅五年度)	二,三三二.八五	四,〇〇〇.〇〇	一,〇〇〇.〇〇	四,三六三.三三

三十五年度	九五,七五五	九五,七五五	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
三十六年度	一,一〇〇,八六六	一,一四〇,七五五	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
三十七年度	八二五,九六六	八五五,七〇二	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
三十八年度	八二五,六五七	七六三,六六六	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
三十九年度	一,〇三三,二八八	一,〇三三,二八七	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
四十年度	一,一五〇,〇六一	一,一五〇,〇六一	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
四十一年度	一,一八八,三六〇	一,一八八,三七五	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
四十二年度	一,二九四,四二二	一,二五九,二四〇	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
四十三年度	一,七六六,〇三二	一,七六六,〇三一	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
四十四年度	一,二六四,九二二	一,二六四,九二二	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三
大正元年度	一,三三四,一三七	一,二一九,〇六〇	二,四九五,一三三	二,四九五,一三三

基金	六九一,二七五	勸業債券	六百九拾圓
		該券和子	壹圓貳拾七錢五厘

五、基金

六、藏書

大正二年三月卅一日現在圖書冊數

部	門	第一	第二	第三	第四	第五
和漢書別冊數合計	宗敎	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	哲學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	教育	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	文學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	語學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
和漢書別冊數合計	歷史	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	傳記	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	地理	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	紀行	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	國家學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
和漢書別冊數合計	法律	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	經濟及財政	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	統計	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	社會	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	數學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
和漢書別冊數合計	醫學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	理學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	工學	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	兵事	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	藝術	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
和漢書別冊數合計	產業	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	叢書	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	隨筆	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	統計	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢
	社會	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢	洋和漢

合 計	門 雜書	和漢	六二	七四	備	新聞雜誌及ビ目錄ハ本表中ニ計算セス
	兒童少年 讀物	和書	五三	三六		
洋書	和漢書	二九	二九	者		
	洋書	二五	二五			

七、成 績 (一) 自明治三十三年度 至大正元年度 圖書閱覽者累年比較

年 次	學 生	教 員	官公使	其 他	婦 人	合 計	開館日數	一日平均
卅三年度 (自一月至三月)	五五三	四八			九	六〇	五三	一三
三十四年度	四、五八	四四	二	一四七		五、九八	二八五	一八
三十五年度	三、六四	九三	三	二四四		四、八五	二九三	一七
三十六年度	四、二七	一、〇五〇	七	六七三		六、〇〇五	二九四	二〇
三十七年度	四、八〇	二、三三四	一九〇	五二八		七、七五	二九一	二七
三十八年度	三、九三	四、七九八	二八九	四七四		九、四八四	二九一	三三
三十九年度	三、五七七	六、二〇〇	二五	四九五		一〇、五七七	二九二	三六
四十年 度	三、四三九	五、五九一	二五	七八六		一〇、五七七	二九一	三五

四十一年 度	四、七七一	七、六三二	二三八	六三		一二、六三三	二九二	四四
四十二年 度	五、六九七	七、九〇四	四三三	七五四		一四、七五三	二九一	五一
四十三年 度	五、七〇一	三、七一五		七八三		一〇、一五九	二五九	四〇
四十四年 度	五、七九四	九、五八一		三、三三六		一八、七七一	二五六	六三
大正元 年度	四、五七一	七、六六七		三、九七三	五〇	一六、二二二	二九〇	五六

(二) 大正元年度 圖書閱覽人員種別表

年 月	學 生	教 員	官公吏其他	婦 人	合 計	開館日數	一日平均
四 月	二二一	八三	一四九	三	一、三六六	二五	五
五 月	四二二	一〇一	三九	一〇	一、八二〇	二七	六
六 月	五二二	七五	五二	七	一、八二二	二六	六
七 月	六〇三	七〇	五〇	三	一、八二三	二五	七
八 月	一九五	六三	四七	二	一、二二三	二七	五
九 月	五四五	六八	一〇一	五	一、二二〇	二二	六

分類	十 月	十 一 月	十 二 月	十 三 月	計
新聞紙	10	10	10	10	40
雜誌	10	10	10	10	40
圖書	10	10	10	10	40
其他	10	10	10	10	40
合計	40	40	40	40	160

十一

大正四年四月二日
 大正四年三月二日
 大正四年二月二日
 大正四年一月二日
 大正四年一月一日

明治四十五年四月二日 (三) 何武淵立圖書館覽閱員區別表

種別	神戶市		何武淵立圖書館														合計			
	館	分館	圖書	雜誌	新聞紙	外國歷史	國史	地理	社會	算術	衛生	工業	農林	商業	雜書	新聞紙		統計		
和漢書	10	10	50	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
洋書	10	10	50	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
合計	20	20	100	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

本年度内婦人閱覽者五十九人
 閱覽室ニ備ヘ付テ書架ヲ自由ニ開覽シタルヲ以テ
 其範圍ヲ定メ難ク依テ雜誌ノ内ニ入ル

十一

自明治四十五年四月一日至天正二年三月卅一日 (四) 閱覽圖書冊數表

阿武郡立秋圖書館

種別	和漢書		洋書		計	閱覽人員
	冊	冊	冊	冊		
宗教、哲學、教育、文學、語學、	八、〇一六	一、三一三	九、三七四	二、二〇七		
歷史、傳記、地理、紀行、	一六、一七八	二、六九六	一八、八八四	三、一四七		
國家、法律、經濟、統計、社會、	一一、九三七	三、四六四	一五、四〇一	二、一八		
數學、理學、醫學、	一、八五一	三二五	二、一七六	六九三		
工業、藝術、產業、兵事、	一三、五四三	二五〇	七、二一六	八三七		
類書、叢書、隨筆、雜書、	六、四〇五	一八七	六、五九二	六四四		
雜誌、新聞、目錄、	七、〇八〇	一、五〇九	八、五八九	四、九〇五		
合計	七一、九六七	九、七五二	八一、七二三	一六、〇八一		

備考
貸出書籍ノ計算ハ一八十冊ノ書籍ヲ十日借受タルモノハ一人日々十冊ノ書籍ヲ十日間
閱覽シタルモノトシテ計算ス婦人ハ本年度間五十八來リシモ其閱覽圖書ハ婦人閱覽室
備付ノ圖書ヲ自由ニ閱覽セルヲ以テ雜誌ヲ讀ミタルモノトシテ雜誌ノ部ニ計上ス

自明治四十四年七月廿一日至天正元年八月三十日 (五) 市中派出夏期閱覽所成績表 阿武郡立秋圖書館

種別	學生		一般		計	開館日數	一日平均
	員	員	員	員			
圖書閱覽者	一六六	五	七七	二四八			
雜誌閱覽者	一一六	一八	一〇九	二四三	四一		六
新聞閱覽者	二八二	二二	一八六	四九一			六
圖書閱覽者	一、二七〇	三九	一一一	一、四二〇			三六
雜誌閱覽者	四、一七九	一三一	一、一八四	五、四九四	三九		一四一
新聞閱覽者	五、四四九	一七〇	一、二九五	六、九一四			一七六
備考	閱覽圖書貳拾五種冊數壹千四百貳拾五冊 七月三十一日御大要ニ付臨時休館						

自明治四十五年七月廿二日至天正元年八月廿九日 (五) 市中派出夏期閱覽所成績表 阿武郡立秋圖書館

八、寄贈金品

品名	個數	寄贈者名	品名	個數	寄贈者名
本館建物一式	一	瀧口吉郎	第十週年紀念杯	一組	村上俊江
婦人閱覽建物一式	一	瀧口吉郎	電氣仕掛呼鈴	一	白石信夫
金參百圓(基金)	一	瀧口吉郎	吉田松陰先生遺墨摺物	一	利五郎
兩面書函其他器具	一	瀧口吉郎	山縣公寫真肖像	一	藤有朋
樹及古畫	一	瀧口吉郎	伊藤公寫真肖像	一	內正毅
井上公油繪肖像	一	瀧口吉郎	寺內子寫真肖像	一	伊藤博文
金貳拾圓(開館式費)	一	瀧口吉郎	毛利祥久男寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(開館式費)	一	瀧口吉郎	榊取男寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(開館式費)	一	瀧口吉郎	榊取男寫真肖像	一	公伊藤
金拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	林伯寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	岡澤子寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
金貳拾圓(圖書館一覽)	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
伊藤公大肖像	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
顯忠祠碑銘石摺及薄允	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
君墨跡石摺	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤
男爵藤田傳三郎寫真肖像	一	瀧口吉郎	曾根子寫真肖像	一	公伊藤

(二) 圖書

冊數	品名	寄贈者名	冊數	品名	寄贈者名
一、八	小紫熊	林澤村	二、八	文部	清省
二、五	紫熊	林澤村	三、三	江野木	清省
三、二	熊	林澤村	四、一	滋野木	清省
四、一	熊	林澤村	五、一	朝野木	清省
五、一	熊	林澤村	六、一	村野木	清省
六、一	熊	林澤村	七、一	取野木	清省
七、一	熊	林澤村	八、一	日本圖書株式會社	清省
八、一	熊	林澤村	九、一	大日本圖書株式會社	清省
九、一	熊	林澤村	一〇、一	陸軍省	清省
一〇、一	熊	林澤村	一一、一	內務省	清省
一一、一	熊	林澤村	一二、一	東京女子高等師範學校	清省
一二、一	熊	林澤村	一三、一	京本	清省
一三、一	熊	林澤村	一四、一	喜本	清省
一四、一	熊	林澤村	一五、一	喜本	清省
一五、一	熊	林澤村	一六、一	喜本	清省
一六、一	熊	林澤村	一七、一	喜本	清省
一七、一	熊	林澤村	一八、一	喜本	清省
一八、一	熊	林澤村	一九、一	喜本	清省
一九、一	熊	林澤村	二〇、一	喜本	清省
二〇、一	熊	林澤村	二一、一	喜本	清省
二一、一	熊	林澤村	二二、一	喜本	清省
二二、一	熊	林澤村	二三、一	喜本	清省
二三、一	熊	林澤村	二四、一	喜本	清省
二四、一	熊	林澤村	二五、一	喜本	清省
二五、一	熊	林澤村	二六、一	喜本	清省
二六、一	熊	林澤村	二七、一	喜本	清省
二七、一	熊	林澤村	二八、一	喜本	清省
二八、一	熊	林澤村	二九、一	喜本	清省
二九、一	熊	林澤村	三〇、一	喜本	清省
三〇、一	熊	林澤村	三一、一	喜本	清省
三一、一	熊	林澤村	三二、一	喜本	清省
三二、一	熊	林澤村	三三、一	喜本	清省
三三、一	熊	林澤村	三四、一	喜本	清省
三四、一	熊	林澤村	三五、一	喜本	清省
三五、一	熊	林澤村	三六、一	喜本	清省
三六、一	熊	林澤村	三七、一	喜本	清省
三七、一	熊	林澤村	三八、一	喜本	清省
三八、一	熊	林澤村	三九、一	喜本	清省
三九、一	熊	林澤村	四〇、一	喜本	清省
四〇、一	熊	林澤村	四一、一	喜本	清省
四一、一	熊	林澤村	四二、一	喜本	清省
四二、一	熊	林澤村	四三、一	喜本	清省
四三、一	熊	林澤村	四四、一	喜本	清省
四四、一	熊	林澤村	四五、一	喜本	清省
四五、一	熊	林澤村	四六、一	喜本	清省
四六、一	熊	林澤村	四七、一	喜本	清省
四七、一	熊	林澤村	四八、一	喜本	清省
四八、一	熊	林澤村	四九、一	喜本	清省
四九、一	熊	林澤村	五〇、一	喜本	清省
五〇、一	熊	林澤村	五一、一	喜本	清省
五一、一	熊	林澤村	五二、一	喜本	清省
五二、一	熊	林澤村	五三、一	喜本	清省
五三、一	熊	林澤村	五四、一	喜本	清省
五四、一	熊	林澤村	五五、一	喜本	清省
五五、一	熊	林澤村	五六、一	喜本	清省
五六、一	熊	林澤村	五七、一	喜本	清省
五七、一	熊	林澤村	五八、一	喜本	清省
五八、一	熊	林澤村	五九、一	喜本	清省
五九、一	熊	林澤村	六〇、一	喜本	清省
六〇、一	熊	林澤村	六一、一	喜本	清省
六一、一	熊	林澤村	六二、一	喜本	清省
六二、一	熊	林澤村	六三、一	喜本	清省
六三、一	熊	林澤村	六四、一	喜本	清省
六四、一	熊	林澤村	六五、一	喜本	清省
六五、一	熊	林澤村	六六、一	喜本	清省
六六、一	熊	林澤村	六七、一	喜本	清省
六七、一	熊	林澤村	六八、一	喜本	清省
六八、一	熊	林澤村	六九、一	喜本	清省
六九、一	熊	林澤村	七〇、一	喜本	清省
七〇、一	熊	林澤村	七一、一	喜本	清省
七一、一	熊	林澤村	七二、一	喜本	清省
七二、一	熊	林澤村	七三、一	喜本	清省
七三、一	熊	林澤村	七四、一	喜本	清省
七四、一	熊	林澤村	七五、一	喜本	清省
七五、一	熊	林澤村	七六、一	喜本	清省
七六、一	熊	林澤村	七七、一	喜本	清省
七七、一	熊	林澤村	七八、一	喜本	清省
七八、一	熊	林澤村	七九、一	喜本	清省
七九、一	熊	林澤村	八〇、一	喜本	清省
八〇、一	熊	林澤村	八一、一	喜本	清省
八一、一	熊	林澤村	八二、一	喜本	清省
八二、一	熊	林澤村	八三、一	喜本	清省
八三、一	熊	林澤村	八四、一	喜本	清省
八四、一	熊	林澤村	八五、一	喜本	清省
八五、一	熊	林澤村	八六、一	喜本	清省
八六、一	熊	林澤村	八七、一	喜本	清省
八七、一	熊	林澤村	八八、一	喜本	清省
八八、一	熊	林澤村	八九、一	喜本	清省
八九、一	熊	林澤村	九〇、一	喜本	清省
九〇、一	熊	林澤村	九一、一	喜本	清省
九一、一	熊	林澤村	九二、一	喜本	清省
九二、一	熊	林澤村	九三、一	喜本	清省
九三、一	熊	林澤村	九四、一	喜本	清省
九四、一	熊	林澤村	九五、一	喜本	清省
九五、一	熊	林澤村	九六、一	喜本	清省
九六、一	熊	林澤村	九七、一	喜本	清省
九七、一	熊	林澤村	九八、一	喜本	清省
九八、一	熊	林澤村	九九、一	喜本	清省
九九、一	熊	林澤村	一〇〇、一	喜本	清省
一〇〇、一	熊	林澤村			

京 城 日 報	東京	染織	藥學	圖書	學業	實業	陽明	實業	特許	特許	特許	通商	私 立 大 學 專 門 學 校	
	金物新報	織書	學書	圖書	業之	業之	業之	業之	業之	業之	業之	業之		阿 木 郡 與 役
	報同	誌同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同		阿 木 郡 學 校
京 城 日 報 社 秋 時 報 社 馬 關 日 新 報 橫 山 楓 邦	(四) 新社	合名	大日本	東京	九善	丸上	村善	村上	染織	農商	農商	農商	三 所 校	
	會社	東京	日本	書籍	善善	上上	上上	上上	織新	商務	商務	商務		三 所 校
	會社	東京	日本	書籍	善善	上上	上上	上上	織新	商務	商務	商務		
寄贈之部	王佐	民書	俱書	樂書	部同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	東 京 市 役 所 樹 所	
	佐民	俱書	樂書	部同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同		東 京 市 役 所 樹 所
	俱書	樂書	部同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同		
寄贈之部	土佐	和論	北島	高津	島津	理學	日學	德本	朝鮮	中求	石護	山口縣	龍 古 勉 谷 強 門 堂 書 社 實 店	
	佐論	和論	北島	高津	島津	理學	日學	德本	朝鮮	中求	石護	山口縣		龍 古 勉 谷 強 門 堂 書 社 實 店
	俱書	樂書	部同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同	報同		

20P
22 cm

TRC102086

山口県立図書館蔵書印

16
館内

萩市立図書館



111347365